

各 位

NPO放送批評懇談会

発表!! 第62回ギャラクシー賞

テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品

テレビ部門「個人賞」「特別賞」

ラジオ部門「DJパーソナリティ賞」

志賀信夫賞 フロンティア賞

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CMの作品、制作者、関係者に贈る賞として62年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

本日、第62回のテレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の入賞作品および、テレビ部門個人賞、特別賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞、志賀信夫賞、フロンティア賞を発表いたします。

詳しくは次ページ以降をご覧ください。貴誌／紙、貴メディアでのお取り扱いをお願いいたします。

なお、各部門の大賞、優秀賞、選奨は、6月2日(月)開催の贈賞式で決定、発表いたします。

贈賞式は放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

第62回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時：6月2日(月) 午後3時～5時20分(15:00-17:20)

司会：鬼頭里枝 森谷佳奈

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



※上記 YouTube 公式チャンネルでは、過去のギャラクシー賞受賞ドキュメンタリー作品の再生リストを掲載中です。

志賀信夫賞

中村耕治

フロンティア賞

radiko

テレビ部門

プレミアムドラマ「舟を編む～私、辞書つくります～」

日本放送協会 日テレ アックスオン

能登デモクラシー

石川テレビ放送

罪の壁 危険運転致死傷罪の23年

福井テレビジョン放送

NHKスペシャル「“一億特攻”への道～隊員4000人 生と死の記録～」

日本放送協会 NHKエンタープライズ

テレビ千鳥「テストで100点取りたいんじゃ!!」

テレビ朝日

新宿野戦病院

フジテレビジョン

連続テレビ小説「虎に翼」

日本放送協会

プレミアムドラマ「団地のふたり」

日本放送協会 テレバック

テレ東の人気企画を世界のテレビ局がやってみた！テレ東スマッシュヒット

テレビ東京

情報は誰のもの？～ごみ処理施設と情報公開～

RKB毎日放送

メ～テレドキュメント「掌で空は隠せない～木本事件の99年後～」

名古屋テレビ放送

題名のない音楽会

テレビ朝日

1995～地下鉄サリン事件30年 救命現場の声～

フジテレビジョン

ノー・モア・ヒバクシャ ～NEVER AGAIN NAGASAKI～

長崎文化放送

特別賞

バリバラ

日本放送協会

個人賞

杉咲 花

「アンメット ある脳外科医の日記」（関西テレビ）、日曜劇場「海に眠るダイヤモンド」（TBSテレビ）の演技

報道活動部門

自閉症の画家・石村嘉成さんの継続取材と映画「青いライオン」を核とする一連の報道活動

RSK山陽放送

刑事司法の壁に挑んだ一連の検証報道

関西テレビ放送

阪神・淡路大震災30年 関西民放NHK連携プロジェクト「守りたい、だから 伝える」

関西民放NHK連携プロジェクト

旧優生保護法 強制不妊手術をめぐる一連の報道

東日本放送

知床沖観光船沈没事故 2年5カ月に及ぶ独自の検証報道

北海道テレビ放送

よんちゃんTV コドモマモル～性と向き合う～キャンペーン

毎日放送

ラジオ部門

ラジオドラマ「うっちゃり横綱道 前田山英五郎」

南海放送

CBCラジオ特集「20年目」

CBCラジオ

KNB報道スペシャル「ふるさとの亀裂～地震と過疎と原発と～」

北日本放送

文化放送報道スペシャル「全生園の柊」

文化放送

MANDAN

九州朝日放送

ウボボイ音楽祭2024 presented by ウボボイラジオ

エフエム北海道

ABCラジオぼうさい部スペシャル あの日に学ぶ未来への備え

朝日放送ラジオ

ニッポン放送開局70周年記念ラジオドラマ「マミーロード」

ニッポン放送

DJパーソナリティ賞

大窪シゲキ

「大窪シゲキの9ジラジ」（広島エフエム放送）パーソナリティとして

CM部門

テレビCM

大塚製薬 カロリーメイト「それぞれの音色」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

花王 メリット シリーズ「家族と愛とメリット」

花王 電通 電通クリエイティブピクチャーズ

麒麟ビール KIRIN 一番搾り 糖質ゼロ シリーズ「いい時代篇」「誰が決めたの？篇」

麒麟ビール 電通 太陽企画

小学館 例解国語辞典「例解学習国語辞典 2024 TVCM」

小学館 電通 AOI Pro.

ラジオCM

大日本除虫菊 シンカトリ 金鳥文庫 わたしは猫シリーズ「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」

大日本除虫菊 電通（Creative KANSAI） ヒッツコーポレーション

中央軒 企業「私たちは考えました篇」

中央軒 朝日放送ラジオ ビッグフェイス

ウェブCM

海上保安庁 シリーズ「海上保安官物語」

海上保安庁 読売広告社 読売クリエイティブスタジオ

キングジム テブラ シリーズ「#おねがいテブラ」

キングジム 電通 二番工房

KDDI UQ親子応援割 シリーズ「#親子のスマホホンネ」

KDDI 電通 AOI Pro.

セブン銀行 企業 シリーズ 連続ミニチュアドラマCM「第0会議室」

セブン銀行 電通 ソーダコミュニケーションズ

日産自動車 日産90周年記念ムービー「NISSAN LOVE STORY」

日産自動車 TBWA HAKUHODO TYO

三井住友銀行 Olive シリーズ「通帳の人①」「通帳の人②」「通帳の人 手続きって、“つながり”やねん。」「通帳の人 俺もまとめてんねん。」「通帳の人 そのポイントをくれんのは、誰や？」

三井住友銀行 電通 TUGBOAT 東北新社

ユニクロ ユニクロ年末祭・新年祭 シリーズ 年末年始いるいる劇場byシンソヌ▼「年末年始いるいる劇場 ティザー」▼年末いるいる劇場byシンソヌ「地元の服装、油断しがち。」「服も年末の挨拶も重ねがち。」「地元の飲み会、座数がち。」「大掃除、思い出に邪魔されがち。」「方言と標準語、ハイブリッドがち。」「▼新年いるいる劇場byシンソヌ「初夢、忘れがち。」「ウエストゆるめがち。」「新年、はりきりがち。」

ユニクロ 電通 太陽企画

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月2日（月）開催「第62回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMIは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社（者）名五十音順に記載。●詳しい結果は6月6日（金）発売の「GALAC」2025年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。



第 62 回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2025/4/28

第 62 回ギャラクシー賞 テレビ部門

委員長 桧山珠美

副委員長 岡室美奈子 加藤久仁

委員 影山貴彦 篠原朋子 戸部田 誠 並木浩一 西畠泰三 樋口喜昭 松田健次 三谷実可 柳川素子

2024 年度ギャラクシー賞テレビ部門は、上期 175 本、下期 191 本の応募をいただき、これに月間賞 48 本を加えた 414 作品が審査対象となりました。

そのなかから、時代性やテーマ性、着眼点などさまざまな観点を考慮し、議論と投票を重ねた結果、入賞作品 14 本と、特別賞、個人賞を選出しました。地震や豪雨などの大規模災害、戦争や事件、歴史が忘れてきたものや社会に巣食う病理に斬り込み、今を生きる私たちに問いかけます。

過去から何を受け取り、未来に何を託すのか。ジャーナリズムの力を体現する力作が目をつけたドキュメンタリー。閉塞した時代のなかで生きづらさを抱えた人たちに寄り添う、あるいはタブー視されてきたテーマに挑むドラマ、自由な発想と工夫でエンターテインメントの新たな可能性を切り拓くバラエティの数々。ジャンルを問わず、多岐多彩にわたりテレビの魅力を伝える意欲作に大きな刺激を貰いました。
(桧山珠美)

テレビ部門入賞作品

以下の 14 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 10 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

プレミアムドラマ「舟を編む～私、辞書つくります～」

日本放送協会 日テレ アックスオン

能登デモクラシー

石川テレビ放送

罪の壁 危険運転致死傷罪の 23 年

福井テレビジョン放送

NHKスペシャル「“一億特攻” への道～隊員 4000 人 生と死の記録～」

日本放送協会 NHKエンタープライズ

テレビ千鳥「テストで 100 点取りたいんじゃ!!」

テレビ朝日

新宿野戦病院

フジテレビジョン



第62回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2025/4/28

連続テレビ小説「虎に翼」

日本放送協会

プレミアムドラマ「団地のふたり」

日本放送協会 テレパック

テレ東の人気企画を世界のテレビ局がやってみた！テレ東スマッシュヒッツ

テレビ東京

情報は誰のもの？～ごみ処理施設と情報公開～

RKB毎日放送

メ～テレドキュメント「掌で空は隠せない～木本事件の99年後～」

名古屋テレビ放送

題名のない音楽会

テレビ朝日

1995～地下鉄サリン事件30年 救命現場の声～

フジテレビジョン

ノー・モア・ヒバクシャ ～NEVER AGAIN NAGASAKI～

長崎文化放送

テレビ部門特別賞

バリバラ

日本放送協会（2010年4月～2025年3月放送）

<選評>

2010年に誕生したこの番組は、生きづらさを抱えるすべてのマイノリティのためのバリアフリー・バラエティです。当事者が本当に必要な情報を自ら発信し続けた結果、未来へのヒントを得た多くの視聴者が、新たな道を選択しています。また、感動ポルノや部落問題など、これまでタブーとされてきたテーマにも切り込んできました。社会課題を顕在化させ、多様性の自在な考え方を社会に提起し続けた功績を高く評価して、特別賞を贈ります。



テレビ部門個人賞

杉咲 花

「アンメット ある脳外科医の日記」(関西テレビ放送)、日曜劇場「海に眠るダイヤモンド」(TBSテレビ)の演技

＜選評＞

杉咲花さんは、これまでもNHK連続テレビ小説「おちょやん」のヒロイン役など数々のドラマや映画でその卓抜な演技力を高く評価されてきましたが、2024年の二つのドラマで、新しい演技のスタイルを確立したと言えるでしょう。「アンメット ある脳外科医の日記」では、記憶が毎日リセットされてしまう医師という難しい役どころをナチュラルに演じただけでなく、若葉竜也さんとともにまるでドキュメンタリーのようにリアリティ溢れる対話シーンを演じ、視聴者を魅了しました。その演技は「海に眠るダイヤモンド」でさらに洗練され、舞台となった炭鉱の町・端島を現実存在するコミュニティのように生き生きと息づかせました。とりわけ神木隆之介さんとの告白シーンでは、表情や間、台詞、所作がフィクションとリアル境界を軽々と踏み越えてしまう新鮮な演技で、視聴者の心を揺さぶりました。テレビドラマにおける演技の新しい地平を拓いたことを称え、個人賞を贈ります。



＜プロフィール＞

1997年10月2日生まれ。東京都出身。2020年連続テレビ小説「おちょやん」(NHK)で、ヒロイン竹井千代役を務める。ほか「花のち晴れ～花男 Next Season～」(TBSテレビ)、「ハケン占い師アタル」(テレビ朝日)、大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」(NHK)、「恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～」(日本テレビ)、ドラマ10「プリズム」(NHK)、「杉咲花の撮休」(WOWOW)など。24年度は「アンメット ある脳外科医の日記」(関西テレビ)に主演、「海に眠るダイヤモンド」(TBSテレビ)では重要な役どころを演じた。映画は16年『湯を沸かすほどの熱い愛』で第40回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞・新人俳優賞、第41回報知映画賞助演女優賞、第59回ブルーリボン賞助演女優賞を受賞。ほか『無限の住人』、『メアリと魔女の花』、『パーフェクトワールド』、『青くて痛くて脆い』、『市子』、『片思い世界』など出演作多数。第42回エランドール賞新人賞、第30回橋田賞新人賞、第47回日本アカデミー賞優秀主演女優賞、第78回毎日映画コンクール〈俳優部門〉女優主演賞受賞。



第62回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2025/4/28

第62回ギャラクシー賞 ラジオ部門

委員長 桜井聖子

副委員長 仲宇佐ゆり 山田真嗣

委員 石井育子 井上佳央里 下田まり子 真銅健嗣 高瀬 毅 西川博泰 橋本やすしげ

ラジオ部門の応募総数は、前年度より9本増の113本。内訳は、生ワイド17本、音楽&エンターテインメント45本、ドラマ11本、報道・ドキュメンタリー40本でした。

生ワイドは、震災、周年、追悼など特別企画が多く、また局の貴重な音源を活用した作品、AIを取り込んだ作品もありました。音楽&エンターテインメントでは、多様な作品が並び、イベント絡みも多く、制作者と局の絶え間ない努力を感じました。ドラマは、本格的なラジオドラマ、ドキュメンタリーと組み合わせたドラマ、朗読の3タイプで、地元密着や阪神淡路大震災など内容も幅広く、心を揺さぶられる作品が並びました。報道・ドキュメンタリーは、問題を広く知ってほしいという強い思いから制作された作品が目立ちました。力作揃いのなか、議論と数度にわたる投票の結果、生放送ならではの機動力で震災と防災を伝えた作品、リスナーを巻き込んだ生放送エンタメ作品、音楽で地域の文化継承を伝えた作品、訴求力と完成度で一歩リードしたドラマ、今後の社会のためにわれわれが何をすべきなのか考えさせる作品8本が選出されました。(桜井聖子)

ラジオ部門入賞作品

以下の8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出され、6月2日発表されます。

ラジオドラマ「うっちゃり横綱道 前田山英五郎」

南海放送

CBCラジオ特集「20年目」

CBCラジオ

KNB報道スペシャル「ふるさとの亀裂～地震と過疎と原発と～」

北日本放送

文化放送報道スペシャル「全生園の柊」

文化放送

MANDAN

九州朝日放送

ウポポイ音楽祭2024 presented by ウポポイラジオ

エフエム北海道



A B C ラジオ ぼうさい部スペシャル あの日に学ぶ未来への備え
朝日放送ラジオ

ニッポン放送開局 70 周年記念ラジオドラマ「マミーロード」
ニッポン放送

ラジオ部門 DJ パーソナリティ賞

大窪シゲキ

「大窪シゲキの 9 ジラジ」（広島エフエム放送）パーソナリティとして

＜選評＞

「オオクボックス」の愛称で広島の若者から絶大な支持を集める大窪シゲキ。中高生に寄り添う「9 ジラジ」のメイン DJ を 2007 年から務めています。

スタジオを飛び出し学校の放送室から届けるお昼の校内放送や、春に門出を祝うイベント「9 ジラジ卒業式」も恒例に。アシスタントに元リスナーを迎えるなど後進も育成。リスナーだけでなくスタッフや先生までも巻き込む力は、若者向け番組を志すパーソナリティや制作者の目標です。



＜プロフィール＞

大阪生まれの 46 歳。今春 25 周年を迎えた広島 FM の中高生応援番組「9 ジラジ」のメイン DJ。2004 年、広島 FM DJ オーディションに応募し落選するも、人柄を買われて 9 ジラジ AD に採用、すぐに番組の人気キャラに。しかし、家族の事情により 1 年で地元大阪に戻る。トラックドライバーをしながら DJ スクールに通う日々が 2 年続いた後の 07 年、先代退任により、2 代目 9 ジラジ DJ に就任する。放送だけでなく、中高校生に直接会いに行くのが番組の特長で、お昼休憩中に行う「出張校内放送」や、校門での「挨拶運動」などは名物企画。22 年 5 月からは高校生をスタジオに招いて、1 時間生放送体験させる「高校生 DJ」企画をスタート。25 年 3 月末まで、のべ 451 人出演したすべての高校生が魅力的に思えるのは、大窪の他者肯定力と、番組スタッフの準備の力。10 代が参加する様々なイベントの MC や、学校での講演会も積極的に実施。広島の中高校生が輝く場所には、大窪シゲキあり！



第 62 回ギャラクシー賞 CM部門

委員長 家田利一

副委員長 風間恵理子

委員 伊藤健志 岡野敏之 片桐 理 齋藤千明 佐藤義浩 生野 徹 中橋 敦 野上信子 平岩モトイ
藤掛真里 柳 志暁

第 62 回ギャラクシー賞CM部門は上期に 149 本、下期に 186 本、合計 335 本の応募をいただきました。内訳はテレビCMが 154 本、ラジオCMが 81 本、ウェブCMが 100 本で、前年度の 286 本から 49 本増となりました。昨今、若い世代のテレビ離れが話題になりますが、テレビCMの応募数は増加し、制作者をはじめとする関係者の意欲を感じることができました。それに合わせるかのように、表現の裾野も広がっていると感じます。クリエイティブのスタイル、キャスティング、コピーライティングなど、さまざまな工夫を凝らして、メッセージを視聴者に届けようという迫力が伝わってきました。実際、どのジャンルにおいても素晴らしい作品が多く、悩ましい選考になりました。

ギャラクシー賞は、テレビCM、ラジオCM、ウェブCMをノンセクションで審査します。私たち審査員は議論を尽くして、入賞の 13 作品を決定しました。(家田利一)

CM部門入賞作品

以下の 13 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 9 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

【テレビCM】

大塚製薬 カロリーメイト「それぞれの音色」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

花王 メリット シリーズ「家族と愛とメリット」

花王 電通 電通クリエイティブピクチャーズ

キリンビール KIRIN 一番搾り 糖質ゼロ シリーズ「いい時代篇」「誰が決めたの? 篇」

キリンビール 電通 太陽企画

小学館 例解国語辞典「例解学習国語辞典 2024 TVCM」

小学館 電通 AOI Pro.

【ラジオCM】

大日本除虫菊 シンカトリ 金鳥文庫 わたしは猫シリーズ「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」

大日本除虫菊 電通 (Creative KANSAI) ヒッツコーポレーション



第62回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2025/4/28

中央軒 企業「私たちは考えました篇」

中央軒 朝日放送ラジオ ビッグフェイス

【ウェブCM】

海上保安庁 シリーズ「海上保安官物語」

海上保安庁 読売広告社 読広クリエイティブスタジオ

キングジム テプラ シリーズ「#おねがいテプラ」

キングジム 電通 二番工房

KDDI UQ親子応援割 シリーズ「#親子のスマホンネ」

KDDI 電通 AOI Pro.

セブン銀行 企業 シリーズ 連続ミニチュアドラマCM「第0会議室」

セブン銀行 電通 ソーダコミュニケーションズ

日産自動車 日産90周年記念ムービー「NISSAN LOVE STORY」

日産自動車 TBWA HAKUHODO TYO

三井住友銀行 O l i v e シリーズ「通帳の人①」「通帳の人②」「通帳の人 手続きって、”つながり”やねん。」「通帳の人 俺もまとめてんねん。」「通帳の人 そのポイントをくれんのは、誰や？」

三井住友銀行 電通 TUGBOAT 東北新社

ユニクロ ユニクロ年末祭・新年祭 シリーズ 年末年始いるいる劇場 by シソンヌ▼「年末年始いるいる劇場 ティザー」▼年末いるいる劇場 by シソンヌ「地元の服装、油断しがち。」「服も年末の挨拶も重ねがち。」「地元の飲み会、座敷がち。」「大掃除、思い出に邪魔されがち。」「方言と標準語、ハイブリッドがち。」▼新年いるいる劇場 by シソンヌ 「初夢、忘れがち。」「ウエストゆるめがち。」「新年、はりきりがち。」

ユニクロ 電通 太陽企画



第 62 回ギャラクシー賞 報道活動部門

委員長 古川柳子

副委員長 市村 元

委員 浅井賢二 飯野芳一 石田研一 一瀬悦子 齊藤潤一 境真理子 塚本 茂 長谷川達哉

第 62 回ギャラクシー賞報道活動部門には、上期 14 本、下期 15 本、合計 29 本の応募がありました。今期は、長年にわたり粘り強く継続されてきた報道が現実を動かしてきた事例や、社会課題を視聴者と共に考える報道の工夫など、息長い意欲的な活動が数多くみられたこと、また 100 周年を迎えるラジオから長い歴史を感じる取り組みが応募されてきたのも特徴でした。

扱われたテーマも多岐にわたり、地方政治をめぐる問題や事件事故の緻密な検証取材、司法の在り方への切込み、阪神淡路大震災から 30 年や能登災害をうけて報道に何ができるのか問い直す真摯な姿勢、また老い、弱者、性などを報ずる視点の工夫など、一過性ではない報道だからこそ世に問うことができた活動が光りました。一つひとつが独自の視点で多くのことを問いかける貴重な活動であり、委員一同、選考には大変苦しみましたが、継続性、独自性、伝承性、社会への影響力など複数の角度から議論を重ね、以下 6 本の報道活動を入選といたしました。

(古川柳子)

報道活動部門入賞作品

以下の 6 本から、大賞 1 本、優秀賞 2 本、選奨 3 本が選出され、6 月 2 日発表されます。

自閉症の画家・石村嘉成さんの継続取材と映画「青いライオン」を核とする一連の報道活動

R S K 山陽放送

刑事司法の壁に挑んだ一連の検証報道

関西テレビ放送

阪神・淡路大震災 30 年 関西民放 NHK 連携プロジェクト「守りたい、だから 伝える」

関西民放 NHK 連携プロジェクト

旧優生保護法 強制不妊手術をめぐる一連の報道

東日本放送

知床沖観光船沈没事故 2 年 5 カ月に及ぶ独自の検証報道

北海道テレビ放送

よんちゃん TV コドモマモル～性と向き合う～キャンペーン

毎日放送



ギャラクシー賞フロンティア賞

r a d i k o

株式会社 radiko

<選評>

今年 15 周年を迎える radiko は、いつでもどこでもラジオが聴けるという新しい聴取体験を提供し、リスナーのニーズに応じたさまざまなサービスを展開することでラジオの利便性を飛躍的に向上させました。ラジオという伝統的なメディアにテクノロジーを融合させ、ラジオの新たな可能性を生み出した功績は大きく、これまでの挑戦に敬意を表します。日本でラジオ放送が開始されてから 100 周年を迎える 2025 年、ラジオのさらなる発展の象徴としてフロンティア賞を贈ります。



<radiko (ラジコ) とは>

スマートフォンやパソコンなどでラジオ番組が聴ける音声コンテンツサービス。ラジオの難聴取の解消や聴取機会の拡大を目的に、2010 年 3 月 15 日にサービスを開始。11 年 3 月 11 日の東日本大震災時にはエリア制限を解除して、全国で参加ラジオ局の放送を聴取可能にし、その後も被災地区のラジオ 7 局の放送を全国に配信する「復興支援サイト」を開設、公共性の高い情報支援を行った。24 年 2 月にはポッドキャストの配信をスタート。同年 8 月現在、全国の民放ラジオ 99 局と NHK が参加。時間や場所を選ばず、手軽に楽しめる音声コンテンツとして、毎月の聴取者数 (MAU: 月間ユニークユーザー数) は約 850 万人以上に達している。



放送批評懇談会 第 16 回志賀信夫賞

中村耕治 南日本放送 相談役

志賀信夫賞選考委員会 [委員長] 音 好宏 [選考委員] 川喜田 尚 藤田真文 出田幸彦 桜井聖子

「志賀信夫賞」は、当会創設メンバーである志賀信夫の長年にわたる放送批評活動の功績を記念して創設されました。広く放送文化、放送事業の発展に顕著な貢献をした個人を顕彰することが目的です。慎重かつ多角的な討議を重ねた結果、第 16 回志賀信夫賞に中村耕治氏を選出しました。

<選評>

多メディア・多チャンネル化、デジタル化、ネットの伸張といったこの 30 年あまりの地上民放局を取り巻く環境が激変するなかにあって、中村耕治さんは、地域に根ざしたローカル局のあり方について積極的に発言、実践されてきました。

それらの発信／行動の背景には、南日本放送のキャッチコピー「ふるさとたっぷり」に象徴されるように、地域社会を基点にした公共セクターとしての放送事業という視座があります。その視座からの一貫した言動は説得力あり、系列やメディアといった所属や立場を越えて、多くのメディア関係者、研究者らが中村さんのもとを訪れ、その考えに耳を傾ける一方で、中村さん自身が行政関係者や政治家のもとにおもむき、場合によっては苦言を呈することもあったと聞きます。



そのような姿でも明らかなおりと、中村さんはローカル民放のみならず、ケーブルテレビ、コミュニティ FM など、コミュニティ・メディアの理論的な支柱でもあり続けました。日本における数少ないローカル放送の理論派、実践家としての中村耕治さんの一連の活動を敬意を表します。

<プロフィール>

1949 年福岡県生まれ鹿児島県育ち。74 年早稲田大学政治経済学部卒業後、南日本放送に入社。報道記者として過疎化の進む地域の現実を伝えながら、地方の視座から日本社会の変遷を見てきた。90 年報道部長就任後、「川」、「防災」、「食と農」など「地域の暮らしと自然」をテーマにしたキャンペーンなどを展開。2006 年社長就任。「ふるさとたっぷり」を社是に掲げ、地元紙、ケーブルテレビ、コミュニティ FM など地域内のメディアとの連携を進めてきた。18 年会長、取締役相談役後、24 年取締役退任。16 年から 8 年間、民間放送教育協会副会長を務める。現在、鹿児島交響楽団理事長、屋久島環境文化財団理事など。

■志賀信夫賞過去の実賞者／敬称略

第 1 回 澤田隆治、第 2 回 後藤亘、第 3 回 植村伴次郎、第 4 回 藤田潔／TBS『調査情報』、第 5 回 石井ふく子、第 6 回 松尾羊一、第 7 回 山本雅弘、第 8 回 西村泰重、第 9 回 川端和治、第 10 回 今野勉、第 11 回 樋泉実、第 12 回 和崎信哉、第 13 回 川平朝清、第 14 回 岡崎栄、第 15 回 関口宏



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963 年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第 50 回（2013 年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年 2 回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年 5 月下旬～6 月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

- 【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1
- 【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1
- 【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9
- 【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3
- 【その他】志賀信夫賞 1、フロンティア賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1
(上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

＜志賀信夫賞＞

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2009 年度（第 47 回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に出す。

＜フロンティア賞＞

放送界の未来を切り拓く挑戦を果たした番組、仕組み等を顕彰する。2015 年度（第 53 回）創設。

＜マイベストTV賞＞

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2006 年度（第 44 回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

- 1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。
- 1989 年度 第 27 回、ラジオ部門独立。
- 1993 年度 第 31 回、ラジオ部門に「DJパーソナリティ賞」新設。
- 1995 年度 第 33 回、CM部門設立。
- 2002 年度 第 40 回、報道活動部門設立。
- 2006 年度 第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。
- 2009 年度 第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。
- 2015 年度 第 53 回、放送の新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://www.houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

以上